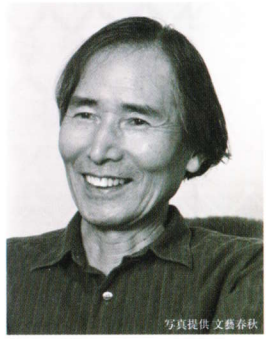

写真提供 文藝春秋

昭和2年、山形県東田川郡黄金村大字高坂（現鶴岡市高坂）生まれ。本名、小菅留治。山形師範学校卒業後、教師となり湯田川中学校へ赴任。2年後に肺結核がみつかり休職。6年余の闘病の後、東京の業界新聞社に勤務。会社勤めの傍ら小説を執筆。昭和46年「渇い海」でオール讀物新人賞、昭和48年「暗殺の年輪」で直木賞受賞。昭和60年から平成8年まで11年間、直木賞選考委員をつとめる。
吉川英治文学賞・芸術選奨文部大臣賞・菊池寛賞・朝日賞などを受賞。平成7年紫綬褒章受章。平成9年、逝去。

藤沢周平（1927－1997）

●文春文庫
暗殺の年輪／一茶／喜多川歌麿女絵草紙／雲奔る 小説・雲井龍雄
長門守の陰謀／隠し剣孤影抄／隠し剣秋風抄／闇の傀儡師（上・下）
又蔵の火／逆軍の旗／霧の果て 神谷玄次郎捕物控
よろずや平四郎活人剣（上・下）／暁のひかり／回天の門（上・下）
闇の梯子／海鳴り（上・下）／風の果て（上・下）／白き瓶 小説 長塚節
花のあと／小説の周辺／蝉しぐれ（上・下）／麦屋町昼下がり
三屋清左衛門残日録／玄鳥／夜消える／秘太刀馬の骨／半生の記
漆の実のみのる国（上・下）／日暮れ竹河岸／早春 その他
無用の隠密 未刊行初期短篇／帰省／藤沢周平句集／夜の橋
春秋の檻 獄医立花登手控え（一）／風雪の檻 獄医立花登手控え（二）
愛憎の檻 獄医立花登手控え（三）／人間の檻 獄医立花登手控え（四）
闇の歯車／周平独言／甘味辛味 業界紙時代の藤沢周平

●新潮文庫
用心棒日月抄／孤剣 用心棒日月抄／刺客 用心棒日月抄／凶刃 用心棒日月抄
消えた女 彫師伊之助捕物覚え／漆黒の霧の中で 彫師伊之助捕物覚え
ささやく河 彫師伊之助捕物覚え／橋ものがたり／春秋山伏記／密謀（上・下）
本所しぐれ町物語／たそがれ清兵衛／竹光始末／時雨のあと／冤罪
神隠し／時雨みち／驟り雨／闇の穴／霜の朝／龍を見た男
ふるさとへ廻る六部は／静かな木／天保悪党伝

●講談社文庫
雪明かり／闇の歯車／春秋の檻 獄医立花登手控え（一）
風雪の檻 獄医立花登手控え（二）／愛憎の檻 獄医立花登手控え（三）
人間の檻 獄医立花登手控え（四）／決闘の辻 藤沢版新剣客伝
市塵（上・下）／義民が駆ける／喜多川歌麿女絵草紙／闇の梯子

●中公文庫
義民が駆ける／夜の橋／周平独言／闇の歯車／雲奔る 小説・雲井龍雄

●角川文庫
天保悪党伝／春秋山伏記

●実業之日本社文庫
初つばめ「松平定知の藤沢周平をよむ」選

●文藝春秋
藤沢周平全集 全26巻＋別巻／海坂藩大全（上・下）／乳のごとき故郷
蝉しぐれ〈愛蔵版〉／江戸おんな絵姿十二景

●実業之日本社
橋ものがたり〈愛蔵版〉

●大月書店
藤沢周平 とっておき十話

2018.6

入館時間 ● 午前9時～午後4時30分（受付終了時間）
休 館 日 ● 水曜日（休日の場合は翌平日）、年末年始（12/29 ～ 1/3）
入 館 料 ● 大人320円［250円］ ※［ ］は20名以上の団体料金。
高校生・大学生200円［160円］
中学生以下無料
年間入館券1,000円（1年間有効、本人および同伴者1名まで）

バス ● JR 鶴岡駅より約10分、「市役所前」下車徒歩3分
車 ● 山形道鶴岡 I.C. より約10分／庄内空港より約25分

鶴岡市立 藤沢周平記念館

Fujisawa Shuhei Memorial Museum

〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町4-6 Tel.0235-29-1880 Fax.0235-29-2997
http://www.city.tsuruoka.yamagata.jp/fujisawa_shuhei_memorial_museum/

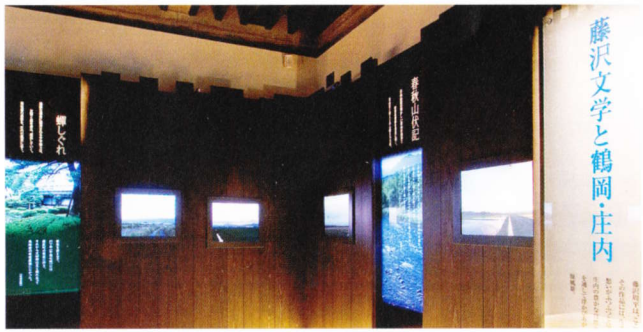
鶴岡市立 藤沢周平記念館

書斎

東京の自宅仕事部屋で実際に使っていた机や愛用品などを展示。当時の柱や畳などの部材を移築し、本来は六畳間であったものを四畳半で再現している

Fujisawa Shuhei Memorial Museum

「生まれ育った土地の風景が、いまも私の中に生きつづけている」
藤沢周平の原風景、鶴岡・庄内
小説に描かれた郷里で、藤沢作品の世界へ



◆第1部「藤沢文学」と鶴岡・庄内

藤沢周平の心の中に生き続ける原風景を、鶴岡・庄内の四季折々の映像に載せて小説の一節とともに紹介します

◆第3部「作家・藤沢周平」の軌跡

郷里の人々との交流、作家になるまでの道のり、家族との日々の暮らしについて紹介しています。また、年譜で69年間の生涯をたどります

◆第2部「藤沢文学」のすべて

全作品の初版単行本を展示。直木賞受賞作品『暗殺の年輪』をはじめ、作品を系統ごとに紹介しています

◆企画展示

テーマを決め、藤沢周平自身や作品をより深く知っていただく企画展を開催します。合わせて朗読会や講演会・各種イベントを行います

静かな佇まいの中で

鶴岡公園の自然と調和した記念館では、館内からも四季の移りかわりを楽しむことができる

藤沢文学世界を味わい深める

エントランスホールやサロンでは、藤沢周平関連の各種情報検索や読書が楽しめる

旧藤沢周平邸から記念館へ

敷地内には、東京の旧邸にあった庭木や屋根瓦、塀に使われていた大谷石などを配している

館内案内図